

# 森林環境教育を活かした 若手職員のスキルアップについて

留萌南部森林管理署 齋藤 諒介  
多田 陸人  
橋本 翔吾

## 取り組みの背景

林野庁では、森林・林業の役割や木材利用の意義について理解と関心を深めるため「遊々の森」をはじめとするフィールド等の提供を通じ、森林環境教育の推進に積極的に取り組んでいます。

また、当署管内の苫前町では、家庭や学校などと地域が一体となって教育の推進をするため、農林水産業体験や社会奉仕体験などが積極的に実施されています。この一環で、苫前町教育委員会から森林環境教育の依頼を受けて平成19年に締結された「遊々の森」において、古丹別小学校、苫前小学校の低学年を対象に、**子どもたちの森林・林業に対する関心やイメージの向上を図るため**森林教室を実施しています。

しかし、**実施プログラムがマンネリ化している傾向**にあり、実施に携わる**若手職員からも「子どもとの接し方が不明」といった課題**が浮き彫りとなってきました。

以上のことから、地域と連携した森林環境教育の実施にあたり、若手職員参画によるスキルアップについて成果を報告するとともに、今後の課題と展望について考察します。

## 取組内容

### 1 若手職員を対象に留萌振興局森林室との情報交換会を実施（写真1）

お互いの森林教室に係る取り組みについて情報交換を実施し、森林教室の実施に当たっての子どもとの接し方を学びました。

### 2 若手職員の発案による子どもたちへの事前アンケートの実施

苫前町教育委員会や各小学校の協力の下、事前にアンケート調査を行い、子どもたちの森林・林業に対するイメージについて事前に把握しました。

### 3 若手職員の発想による森林教室における実施プログラムの一部追加

子どもたちへのアンケート調査により、期待されるイメージ確認を実施してプログラムの一部を追加しました。

### 4 古丹別・苫前小学校においての森林教室の実施（写真2～4）

情報交換やアンケート結果を基に森林教室を実施し、追加したプログラムは若手職員主体で説明を行いました。また、子どもとの目線や工作を一緒に製作して自らも楽しむことを意識して取り組みました。

### 5 子どもたちへの事後アンケートの実施

森林や林業に対するイメージの変化を調査しました。



## 取組成果

- 1 地域と連携した森林環境教育の推進
- 2 事前に子どもたちの森林や林業に対するイメージを把握
- 3 **若手職員主体で林業機械に関するプログラムの追加**（写真5）
- 4 前回よりスムーズに子どもと接することができ、**スキルの習得**（写真6）
- 5 森林教室の実施前後による**子どもたちのイメージ変化を実感**（図1、2）



写真6 緊張しながらも話しかける

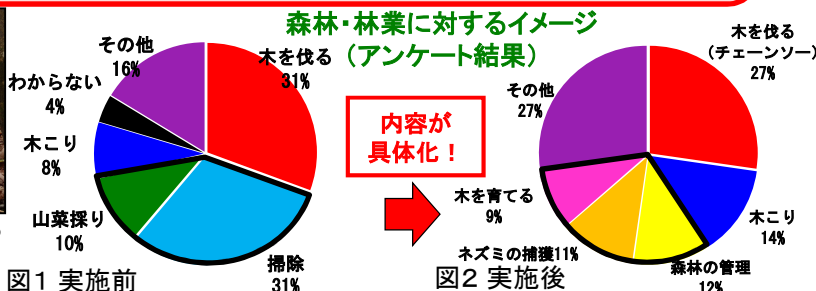


写真5 熱心に説明する若手職員

## 今後の課題と展望

- 1 子どもの安全確保の観点からマンネリ化した内容の大幅な変更ができませんでした。  
➡ 教職員へのアンケートや児童教育に関する研修会へ参加し、プログラムの変更を検討
- 2 「木こり」という林業に対する古いイメージを払拭することができませんでした。  
➡ 各学校や林業事業者と連携し、高性能林業機械の現場見学を取り入れた内容等を検討